

■土屋文明 歌人。人生詠で若い知識層に多大な影響を与え、生活詠に新境地を開き、老大家となって新人を育成。

つちやぶんめい

帝国議会始・1890＝ 群馬県上郊村で、農家の長男に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 4歳：

八幡製鉄始・1897＝ 7歳：上郊小学校井出分校に入學。

Bushidou・・1899＝ 9歳：

1904＝14歳：高崎中学校に入學し、
日露戦争終・1905＝15歳：

韓国反日暴動1907＝17歳：赴任してきた_村上成之から教えを受け、
アヲヲ^ヲ創刊・1908＝18歳：_ {ホトトギス} {アカネ} に歌や小品を投じ、
伊藤博文暗殺1909＝19歳：卒業。上京して、伊藤左千夫宅に寄寓。第一高等学校に入學後は入寮。_ {アララギ} に「睡蓮の花」発表。

_ 清新な抒情で注目される一方、
明治天皇没・1912＝22歳：
大正政変・・1913＝23歳：卒業し、_東京帝国大学哲学科に進んで、
第一次大戦始1914＝24歳：「結婚生活」を訳刊。_第3次 {新思潮} に加わり、戯曲や小説を発表するなどして、

民本主義・・1916＝26歳：卒業。「波斯神話」を訳刊。
ロシア革命・1917＝27歳：*早くも {アララギ} 選者となる。
本格政党内閣1918＝28歳：塚越テル子と結婚。長野県諏訪高等女学校教頭として赴任し、

大暴落・・・1920＝30歳：同校校長となる。
原敬首相暗殺1921＝31歳：
水平社結成・1922＝32歳：松本高等女学校に転任。

護憲三派圧勝1924＝34歳：木曾中学校への転任を断り、再び上京して、
治安維持法・1925＝35歳：_「ふゆくさ」を刊行。
円本時代始・1926＝36歳： {信濃教育} 編集主任となる。

海軍軍縮条約1930＝40歳：_「往還集」を刊行後、斎藤茂吉のあとを受けて {アララギ} の編集責任者となる。
満州事変・・1931＝41歳：
五一五事件・1932＝42歳：「万葉集年表」を刊行。

芥川直木賞始1935＝45歳：_「山谷集」や、
二二六事件・1936＝46歳：*「放水路」を刊行し、小市民的な人生詠で若い知識層に多大な影響を与える。
日中戦争始・1937＝47歳：

この間、万葉集の歌についての踏査が多くなり、

日米開戦・・1941＝51歳：
・・・・・1942＝52歳：_「六月風」刊行。
創価学会検挙1943＝53歳：「少安集」「万葉紀行」刊行。
年金+総武装1944＝54歳：中国旅行。「万葉集上野国歌私注」刊行。
敗戦・・・1945＝55歳：空襲で自宅を焼失。群馬県川戸に疎開して半農生活。「菫青集」刊行。 {アララギ} 復刊し、
新憲法公布・1946＝56歳：_文明選欄が始まる。「ゆずる葉の下」「続万葉紀行」刊行。
新憲法施行・1947＝57歳：「短歌の現在及び将来について」講演。
極東裁判決・1948＝58歳：_疎開先での作を収める「山下水」刊行。
三大事件・・1949＝59歳：「万葉集私注」刊行開始。
朝鮮戦争始・1950＝60歳：_ {読売新聞} 歌壇選者となる。
独立回復・・1951＝61歳：帰京し、青山南町に住む。
メデー事件・1952＝62歳：明治大学講師となる (のち教授)。_「山の間の霧」刊行。
TV放送始・・1953＝63歳：*「自流泉」で骨太な生活詠に新境地をひらき、「万葉集私注」で芸術院賞。宮中歌会始選者となる。

55年体制始・1955＝65歳：角川文庫「土屋文明歌集」が出版される。
国連加盟・・1956＝66歳：_「万葉集私注」20巻を完成。

安保闘争・・1960＝70歳：明治大学教授を辞任。

全国総合計画1962＝72歳：「伊藤左千夫」など多くの著書がある。心筋梗塞で入院。_芸術院会員となる。

美濃部都知事1967＝77歳：_「青南集」「続青南集」刊行し、
霞ヶ関ビル・1968＝78歳：_読売文学賞。
ドルショック・・1971＝81歳：
石油ショック1973＝83歳：_「続々青南集」を刊行、放口で自由なよみぶりに円熟の境を示し、
革新大敗北・1979＝89歳：「歌あり人あり」刊行。
中曽根内閣・1982＝92歳：妻が死去。
・・・・・1984＝94歳：岩波文庫「土屋文明歌集」出版される。「羊歯の芽」刊行。_文化功労者となり、「青南後集」刊行して、
ジャンボ機墜落1985＝95歳：_現代歌人協会短歌大賞。「方竹の蔭にて」刊行。
バブル始・・1986＝96歳：_文化勲章受章して、
ドイツ統一・・1990＝100歳：肺炎及び心不全で_没した。
「この人どんな人」、平凡社百科事典、